

事業所名	アダージョ 放課後等サービス	支援プログラム（参考様式）	作成日	令和7年 3月 15日
法人（事業所）理念	児童にとって大切な家族という居場所が、安心して幸せに感じる環境に近づけられるようトータルサポートを目指します。幼児期から社会に出るまで一貫したサービスを提供できるよう、受け入れの環境を整えます。			
支援方針	児童の考えを尊重し、自主自立の精神が養われるよう支援していきます。			
営業時間	9 時 0 分から 18 時 30 分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支援内容				
本人支援	健康・生活	生活を振り返り予定を立て、少しずつ習慣を身につけてもらえるよう支援します。自分の気持と時間を大切に考えて、ゲームも勉強も切り替えができるよう支援します。生活の中に習慣化するルールを作つて自主性を高めます。生活の基本となる清潔・食事・睡眠を意識してもらい身辺自立を目指します。		
	運動・感覚	一定時間の正しい姿勢で学習することで、体幹の形成になるようにします。運動ゲームや室内スポーツで目と手の協応運動、ものづくりなど工作活動で指先の巧緻性のトレーニングに取り組みます。を活や学校でのさまざまな作業を自立してできるよう、感覚統合運動や認知作業トレーニングを行います。		
	認知・行動	スケジュールやルール提示、視覚化ツールを使って切り替えをします。その他ツールを使って数感覚や集中力を高める計算能力、記憶力、ワーキングメモリーを高めます。学習の中ではミスを受け入れる修正力や時間把握、結果記録から振り返りします。認知機能トレーニングで、気持のコントロールや他者理解自己理解などを身につけたり、自分で考え行動する自立心を高める働きかけをします。		
	言語 コミュニケーション	文章の音読から語彙力や読解力を高めます。相互コミュニケーションのSSTから相手の話の理解、それに対する質問ができるように支援します。グループワークやジェスチャーゲームで表現するスキルを高めます。		
	人間関係 社会性	入退室でのあいさつやお願い、お礼の習慣化を図ります。友達との活動や学習から一緒に切磋琢磨する交流を図ります。ツールを使って場面理解や危険察知などを学びます。集団での役割を担うことで、相互協力の理解を高めます。		
家族支援	療育の内容を離れた場所で職員と一緒に観察し助言を得て学びます。兄弟一緒に相談に応じたり、兄弟で活動に参加してもらうことも対応します。ペアトレや茶話会、かがやき手帳、相談会、講演など1年通じて開催します。	移行支援	保育所への移行やライフステージに合った支援を行います。不登校児童の支援や事業所以外での生活や育ちの場づくりを行います。	
地域支援・地域連携	地域で知つてもらうためのお披露目会を開催したり、地域にある施設等の積極的に利用で交流が生まれる機会を作ります。健常児が主となる学童保育連合が開催する夏冬の遊びの大会にも積極的に参加しています。関係機関、相談会。	職員の質の向上	事業所内では新入社員研修や法定研修等の各種研修やチームワーク研修、個人面談、メンタルケアなど、外部研修ではそれらへの派遣や職歴に合わせた資格取得の支援を積極的に行っています。	
主な行事等	日本の文化に伴う行事やイベントは療育の中に積極的に取り入れています。それら以外にも、年間を通じたデイキャンプや清掃活動のようなボランティア活動、海水浴等も行います。特別療育では、クッキングやものづくり、ロボプロ等体験します。			